

祝 辞

本日ここに、千葉県立東葛飾高等学校創立百周年記念式典が盛大に挙行されますことを、千葉県教育委員会といたしまして心よりお祝い申し上げます。

県立東葛飾高等学校は、大正13年、県立東葛飾中学校として開校し、昭和23年の学制改革により県立東葛飾高等学校となり、定時制普通課程を併置しました。平成28年には、中高一貫教育指導重点校として県立東葛飾中学校を新たに開校して、現在に至っています。



開校以来百年、「自主自律」の校是のもと各界で活躍される人材を社会に輩出してこられました。これもひとえに、本日まで本校発展に御尽力いただきました御列席の皆様方をはじめ、地域の方々や保護者、同窓会の皆様の御支援と、歴代校長先生をはじめとする教職員の御指導、そして在校生の皆さんやその先輩方々の不断の努力の賜物であると、深く敬意を表します。

現在、学校教育を取り巻く諸状況は、国際化や情報化の進展、産業構造や就業構造の変化、少子高齢化の加速などに伴い、著しく変化しております。

予測困難な時代にあって、地域における学校教育に対しては、変化を前向きに受け止め、未来に向かってたくましく生きる力を育むことが求められています。

千葉県では、このような時代の流れに対応するため、令和7年3月、「第4期千葉県教育振興基本計画」を策定し、「子供たちの自信を育む教育の土台づくり」、「未来を切り拓く『人』の育成」、「地域全体で子供を育てる体制と全ての人が活躍できる環境づくり」を基本目標として掲げ、その実現に向けて取り組んでおります。

県立東葛飾高等学校では、時代の進展に応じた教育の推進に積極的に取り組まれており、探究的な学びの深化、ICTを活用した教育の充実、地域社会との連携を通じた実践的な学びの推進など、多様な教育活動を展開されています。これらの取組は、次代を担う生徒の育成に大きく貢献しており、その成果に期待するところであります。これからも魅力ある学校づくりに向けて、より一層取り組まれることを期待しております。

そして、県立東葛飾高等学校に学ぶ皆さんには、諸先輩の築かれてきた歴史と伝統を受け継ぎ、勉学や運動に励み、心身ともに健やかに成長されますことを願っております。

結びに、県立東葛飾高等学校の益々の御発展を祈念申し上げますとともに、関係者の皆様方の一層の御支援と御協力をお願いいたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和7年11月7日
千葉県教育委員会
教育長 杉野 可愛